

1 森林資源の概況

		総 数	育成単層林	育成複層林	天然生林	そ の 他	
面 積 (万 ha)	総 数	2,512	1,034	90	1,247	141	
	民 有 林	計	1,728	794	45	814	75
		公 有 林	280	120	17	129	14
	国 有 林	私 有 林	1,449	674	28	684	62
		計	784	240	44	433	66
		林野庁所管	764	237	44	420	62
	他省庁所管	20	3	0	13	3	
蓄 積 (百 万 m ³)	総 数	4,040	2,328	127	1,584	1	
	民 有 林	計	3,029	1,962	69	998	0
		公 有 林	433	250	23	161	0
	国 有 林	私 有 林	2,596	1,713	46	837	0
		計	1,011	366	59	586	1
		林野庁所管	990	361	59	569	1
	他省庁所管	22	4	0	17	0	

注) その他は、伐採跡地、未立木地、岩石地、竹林等である。

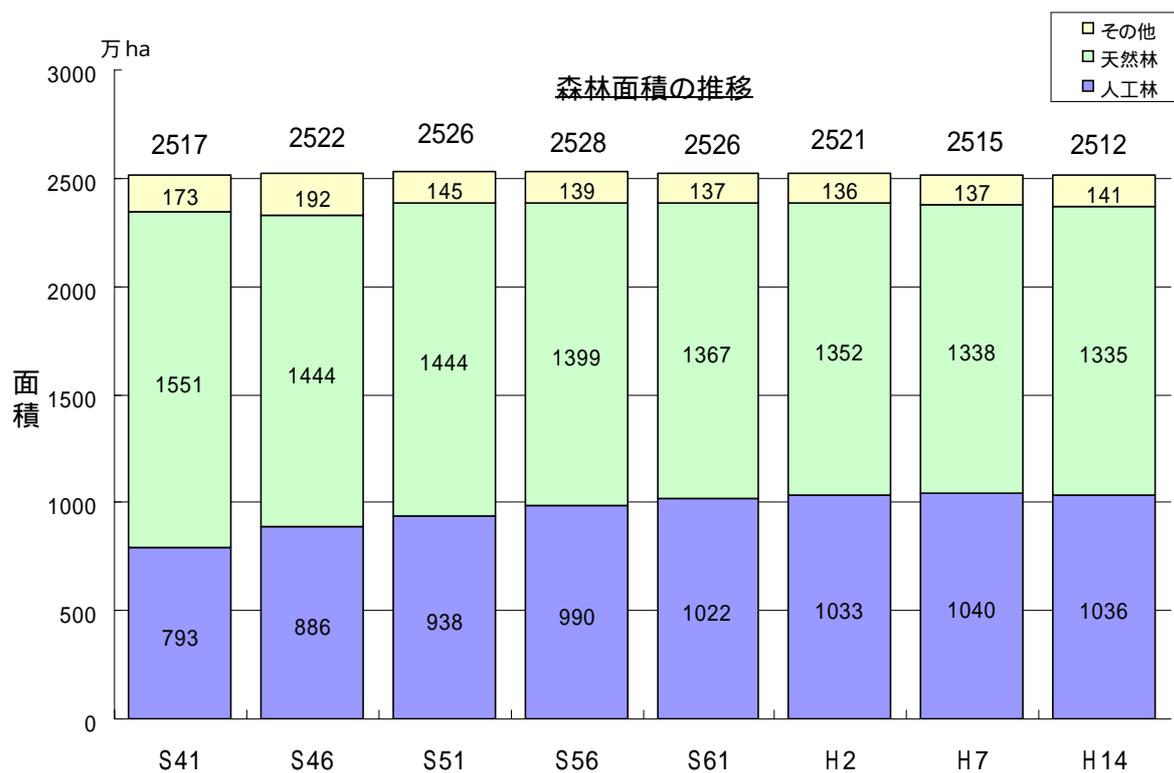
【コメント】

平成14年3月31日現在の我が国の全森林面積は、2,512万haで、このうち、育成単層林は1,034万ha（全森林面積に対するシェア41.2%）、育成複層林は90万ha（同3.6%）、天然生林は1,247万ha（同49.6%）、その他141万ha（同5.6%）となっている。

一方、全森林蓄積は、40億40百万m³で、このうち、育成単層林は23億28百万m³（全森林蓄積に対するシェア57.6%）、育成複層林は1億27百万m³（同3.2%）、天然生林は15億84百万m³（同39.2%）となっている。

2 森林資源の推移

面積



蓄積

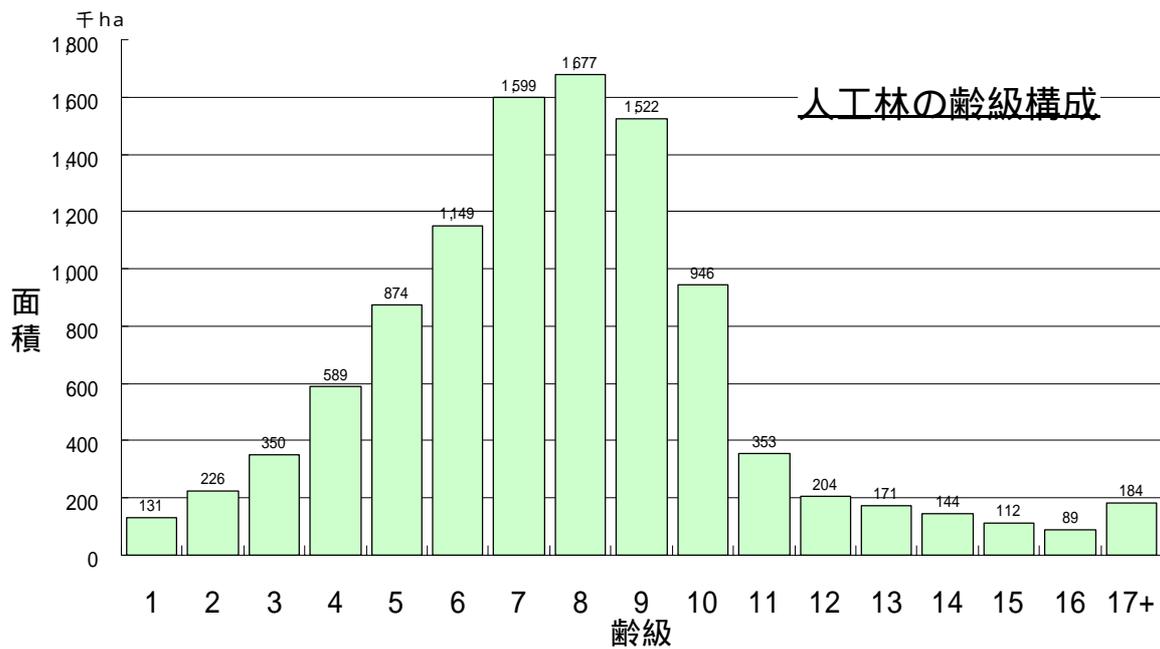


【コメント】

森林面積は、ほぼ横這いで推移している。

森林蓄積は、人工林を中心に着実に増加し、昭和41年から37年間で倍以上に増加している。

3 人工林の齢級構成



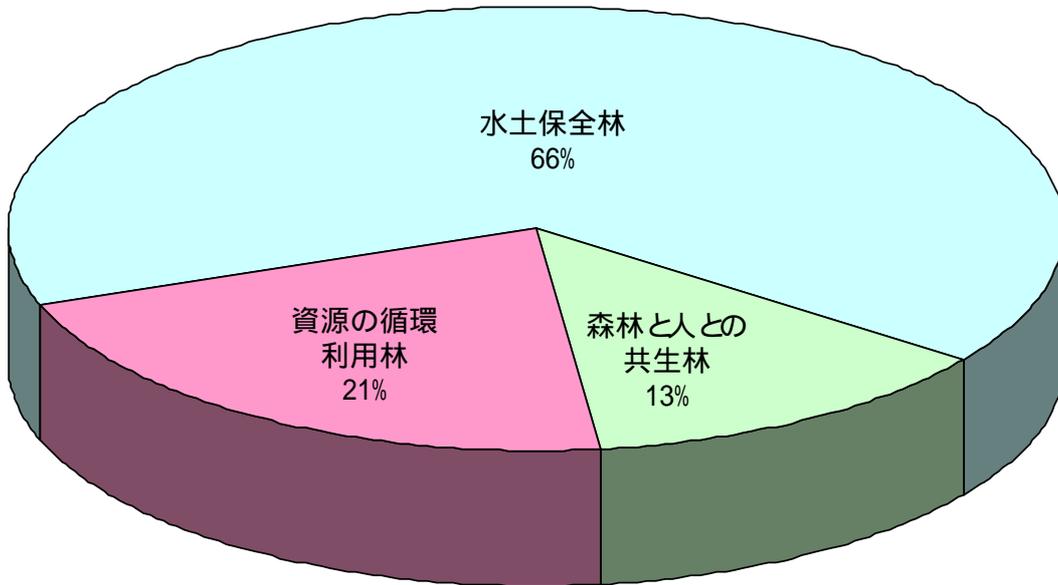
【コメント】

人工林については、成熟化が進んでいるが、保育を要する9齢級(45年生)以下の森林が約8割を占めている。

(「齢級」とは、林齢を5年刻みに表示する単位。n齢級には、 $(5n - 4) \sim 5n$ 年生の森林が含まれる。)

4 重視すべき機能に応じた森林の3区分

重視すべき機能に応じた森林の3区分
(H14.3.31現在)



面積(万ha)	育成単層林	育成複層林	天然生林	計	%
水土保持林	6,991	653	8,813	16,457	66%
森林と人との共生林	461	79	2,740	3,280	13%
資源の循環利用林	2,892	163	2,328	5,383	21%

注) 天然生林には、伐採跡地、未立木地、岩石地、竹林等を含む。

【コメント】

「水土保持林」及び「森林と人との共生林」(公益的機能別施業森林、いわゆる公益林)の面積が、全体の約8割を占めている。